

7. 地域気候変動適応計画策定支援ツールの整備

7.1 地域適応支援ツールの作成

7.1.1 概要

① 背景・目的

適応の知識を持たない地方公共団体担当者が、気候変動影響の理解や適応計画策定に必要な知識を簡易的に習得できるツールを作成した。

- ・地域気候変動適応計画策定マニュアルの作成（平成 30 年度実施）。
 - － 気候変動適応法に基づく地域気候変動適応計画の策定のためのマニュアルを作成
- ・地域適応支援ツールの作成
 - － 地方公共団体担当者が、気候変動影響の理解や適応計画策定に必要とする知識を学習するためのツールを作成

② 実施体制

本調査の実施者：みずほ情報総研株式会社



図 7.1-1 実施体制

③ 実施スケジュール（実績）

平成 30 年度においては、地域気候変動適応計画策定マニュアルを作成、および支援ツールのプロトタイプを作成した。平成 31 年度においては、ツールを改良し、A-PLAT に公開した（2019 年 12 月 13 日）。

表 7.1-1 調査計画

年度	主な調査項目
平成 30 年度	<ul style="list-style-type: none">・プロトタイプ版の学習ツール（パワーポイントによる読み物）を作成・有識者及び地方公共団体の要望や意見を聴取し、その結果をツールの改善に活用・気候変動適応情報プラットフォームを通じて限定公開し、地方公共団体担当者が実際に使用した際の要望や意見を聴取する。
平成 31 年度	<ul style="list-style-type: none">・気候変動適応 e-ラーニング－影響・適応の基礎知識－の改良及び公開

年月	対応	主な調査項目
令和元年 7月末	e-ラーニング (pdf版)	<ul style="list-style-type: none"> 高解像度版： www.adaptation-platform.nies.go.jp/e-learning/pdf/e-learning_h.pdf 低解像度版： www.adaptation-platform.nies.go.jp/e-learning/pdf/e-learning_l.pdf
令和元年 8月	限定公開	<ul style="list-style-type: none"> A-PLAT の限定公開 WEB サイトにて公開。 地方公共団体へ公開を周知し、幅広く意見をいただく
	修正	<ul style="list-style-type: none"> 地方公共団体担当者より頂戴した意見を踏まえ修正。
令和元年 10~11月	WEB 実装	<ul style="list-style-type: none"> 完成版の WEB 実装に向けた準備
令和元年 12月 13日	公開	<ul style="list-style-type: none"> A-PLAT の一般公開 WEB サイトにて公開 https://adaptation-platform.nies.go.jp/materials/index.html

A-PLAT
気候変動適応情報プラットフォーム
CLIMATE CHANGE ADAPTATION INFORMATION PLATFORM

A-PLATについて | データ
事業者の適応

気候変動と適応 国の取組 地域の適応 事業者の適応

データ・資料

気候変動適応 e-ラーニング - 影響・適応の基礎知識 -



これから気候変動適応に取り組む方に気候変動による影響および適応について学んでいただくことを目的として、A-PLATに掲載されている情報を中心にまとめました。

- ウェブサイト [\(2019.12.13公開\)](#)
- 高解像度版： [\(PDF 約12MB\)](#) [\(2019.12.13更新\)](#)
- 低解像度版： [\(PDF 約7MB\)](#) [\(2019.12.13更新\)](#)

A-PLAT
気候変動適応情報プラットフォーム
CLIMATE CHANGE ADAPTATION INFORMATION PLATFORM

HOME > データ・資料 > 気候変動適応 e-ラーニング

気候変動適応 e-ラーニング

-影響・適応の基礎知識-

- このコンテンツは、気候変動の影響および適応について学んでいただくためのものです。
- 特に新任の地方公共団体担当者や気候変動の影響および適応に興味がある方々に向けて作られています。

[e-ラーニングをはじめる](#)

A-PLAT 気候変動適応情報プラットフォーム

表示順 ④ 章別 ⑤ 分野別 文字 小 大 特大

1. 気候変動とは

- 気候は元々、自然に変動や変化をしています。
- 近年の気候には、この自然変動や変化に、人間活動に由来する変動も加わってきています。
- 気候変動には気温上昇や、降水の変化などが含まれます。

• 気候は定常的なものではなく、太陽活動の変動や火山噴火などの自然の影響、**温室効果ガス**の排出や森林伐採など人間活動による影響により変化、変動しています。

• このような変化や変動を広く「気候変動」と呼びます。

• 気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の第5次評価報告書では、20世紀半ば以降に観測された気候変動は、人間活動による二酸化炭素等の温室効果ガスの排出が主な要因である可能性が極めて高いことが示されました。

• この気候変動の代表的な事例としては、気温の上昇や降水の変化が挙げられます。例えば、日本の年平均気温は100年あたり約1.21℃の割合で上昇しています。

• この**気温上昇や降水の変化**といった気候変動は、今後も進行していくと考えられています。

▶日本の年平均気温偏差

細線（黒）：各年の平均気温の基準値からの偏差
太線（青）：偏差の5年移動平均値
直線（赤）：長期変化傾向。基準値は1981～2010年の30年平均値。
出典：気象庁 HP「日本の年平均気温」（2019/6/18確認）

[適応とは »](#)

図 7.1-2 A-PLAT 掲載ページの抜粋